

お問い合わせ:「自然農場風天で検索を!

プロフィール

- 出身地: 宮城県仙台市
- 就農時期: 2012年(当時30歳)
- 就農前の職業等:
宮城教育大学を卒業後、WEB制作会社・印刷・広告会社勤務を得て農業を志す。
- 家族構成: 本人、妻、2匹のうさぎ



1. 就農の動機

業績主義・組織の駒として働く会社勤務の頃、先輩や同僚から「悪い仕事じゃないけど、一生続ける仕事ではない。」という言葉をよく聞かされました。日に日に、自分で自分の仕事をしてみたい!という想いが強くなり、では、一生続ける仕事とは?と考えた時、父の実家の農業の様子が浮かび「農家になろう!」と決めました。就農する2年前の事でした。



2. 就農準備 ~まずは、家族の同意が不可欠です。

就農するまでも、就農してからも様々なハードルがあります。その時一番の味方になる家族の同意すら受けられないのであれば、諦めた方が良いでしょう。私はまず妻に、そして両家の両親兄弟達にプレゼンを行いました。

①地域決定理由

消費地仙台市にも近く、交通の便が良いことと研修を受けた農家が村田町だったので、村田町に決めた。研修先と就農地は、同じか近隣市町村がベスト!

②研修

研修先は県内いろいろ見学したが、「みやぎ農業見聞のつどい」バスツアーへ参加した時、視察農家村田町のボンディファーム鹿股さんに感銘を受け、1年間の研修を依頼した。

③資金~お金は節約

資金は、自己資金300万円と研修期間、営農開始時期に就農支援資金等借入金350万円を準備。

自己資金は、生活費で最低300万円は必須。借入金は、設備投資や借家のリフォームに充当。できるだけ新品は購入せず、中古の機械や資材を探した。

④農地・住宅~地域への浸透・誠意

農地を借りられるのは、農家が「認定新規就農者」のみ。認定を受けるには、就農計画を提出し申請するが、少量多品目栽培のため、この収支見込みや収量見込みの作成に一番苦労した。

町の協力を得て、農業委員の皆さんに自己紹介資料を配付し、本気で真面目に協力を依頼。土地と住宅の情報を得て取得した。



一生をかける仕事として、農業を選択!

3. 現在の経営概要と特徴

①主な作目と栽培面積

露地畑：120 a
栽培品目：野菜全般を約100品目

②主な保有施設・機械

●育苗ハウス 1棟 ●軽トラック 2台
●トラクター 2台 ●管理機 2台

③労働力：本人のみ

④販売先：飲食店15店舗（5割）＋個人の宅配25戸（5割）

⑤特 徴：

「1. 無農薬・無化学肥料 2. 固定種・在来種重視 3. 少量多品目」→手間暇かけて、じっくり育て、環境に優しい農業の実践。自称、雑草農法！

詳しくは、ホームページ「自然農場 風天」で検索を！

4. 経営を開始しての感想

★仲間や地域の人との交流を大切に！

- ①人の都合で働かず、自分と作物の都合で働くので、理不尽なストレスがない。
- ②野菜の生理（生育適温など）や病虫害の勉強が足りなかった。反省。
- ③就農当時は、わからないことだらけ、こんな時、仲間や先輩の声は心強いもの。仙南4Hクラブやこせがれネットワーク等仲間との交流や就農前から加入している「せんだい食農交流ネットワーク」での活動が、農業へのモチベーションを高めている。

5. 新規参入希望者へのアドバイス

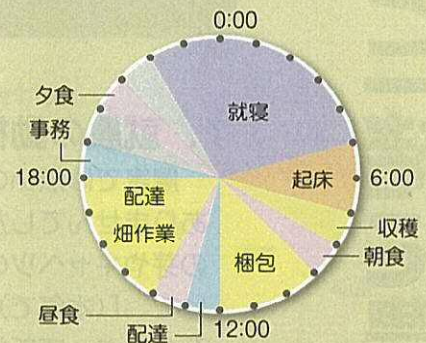
就農のポイントの1つ販路の確保は、独立前から取り組もう。また、研修に入る前から「名刺」を持ち歩き、会う人に配り情報を集めました。機会があれば、先輩農業者の失敗事例も聞くことも大切です。

また、間違った先入観に注意！

- ①農家なら面倒な人付き合いなし？
- ②大自然の中で働きたい？
- ③晴耕雨読、スローライフ？…とんでもない誤解。

就農前の社会人経験は、できれば3年以上経験して、自分の売りを得ておくで後で必ず役に立ちます。

一日の生活スタイル



年間の主な農作業スケジュール

月	作 業
1月	機械メンテナンス 作業場整理など
2月	春作
3月	播種・育苗・定植
4月	
5月	
6月	
7月	
8月	秋作
9月	播種・育苗・定植
10月	
11月	
12月	

人生の
軌跡

決意 28歳
会社を退職

研修 29歳
自然循環型
農業研修

就農 30歳
村田町へ
移住

現在 35歳